（別添資料1）

事業所名　児童発達支援・放課後等デイサービス さぽな

支援プログラム（参考様式）

作成日　2024 年　6 月　18 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を大切にし、得意なことや興味を活かしながら、その子らしい成長を支えます。 「うんどう×発達支援」を軸に、心と身体を育み、ご家族とともに将来の自立と社会参加につながる支援を行います。		
支援方針		本人とご家族の思いを踏まえ、発達段階や生活環境に応じた個別支援計画を作成します。運動療育・個別支援・ハート療育を組み合わせ、 5領域を関連づけた支援を行います。小さな「できた」を積み重ね、安心して挑戦できる環境と、成長段階に応じた継続的な支援を大切にします。		
営業時間		平日　9　時　00　分から　18　時　00　分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	来所時の体調確認や活動中の様子の把握を行い、休息・水分補給など、無理なく過ごせるよう配慮します。 手洗い、身支度、片付け、食事や排せつなど、日常生活に必要な習慣を、本人の発達段階に合わせて身につけられるよう支援します。		
	運動・感覚	運動遊びを通して身体を動かす楽しさを味わい、姿勢の保持、バランス、身体の使い方や協調した動きを育てます。 音楽・絵画・工作なども取り入れ、手指の操作や多様な感覚を経験できるよう支援します。感覚の過敏さや苦手さに応じて活動内容や環境を調整します。		
	認知・行動	遊びや制作、身近な物を使う活動を通して、色・形・数量・文字への関心を育て、見比べる、選ぶ、考える経験を重ねます。 活動の流れや手順を分かりやすく伝え、見通しを持って取り組めるよう支援します。行動の背景を理解し、気持ちの切り替えや適切な行動につなげます。		
	言語 コミュニケーション	あいさつや日常の会話、絵本、歌、活動の振り返りなどを通して、言葉の理解と自分の気持ちを伝える力を育てます。 言葉だけでなく、表情・身振り・絵や写真など、本人に合った方法を用い、お願いする、断る、助けを求めるなどのやり取りを支援します。		
	人間関係 社会性	ハート療育や小集団での遊びを通して、自分や相手の気持ちに気づき、友達と関わる楽しさや思いやりを育てます。 順番を待つ、物を貸し借りする、ルールを守る、協力するなどの経験を重ね、安心できる関係の中で自己表現と社会性を育みます。		
家族支援		日々の支援の様子や成長をご家族と共有し、子育てや家庭での困りごとの相談に応じます。 本人・ご家族の希望を支援計画に反映し、家庭での関わり方を一緒に考えます。	移行支援	就園・就学・進級などの変化を見据え、生活や集団参加に必要な力を育てます。 ご家族の同意のもと、移行先と本人の特性や支援方法を共有し、支援の継続を図ります。
地域支援・地域連携		ご家族の同意のもと、園・学校・相談支援事業所・医療機関等と必要な情報を共有します。 生活の場で支援がつながるよう連携し、地域の資源や身近な環境を生かした経験を支えます。	職員の質の向上	職員間で支援の振り返りや事例検討を行い、本人への理解と支援方法を共有します。 発達支援・虐待防止・安全管理等の研修で知識と技術を学び、支援の改善に活かします。
主な行事等		食育、野外活動（公園・遠足）、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー　等		